



DH SYSTEM
大日本塗料株式会社

商品番号 1784

エポオールスマイル

1. 一般名 浸透性変性エポキシ樹脂塗料 弱溶剤形
 2. 規格 JIS K 5551 C種 1号・2号
 3. 特徴
 1) 弱溶剤形塗料のため、臭気等も少なく、塗装作業環境を改善できる。
 2) 各種旧塗膜への塗重ね適合性に優れ、塗替用にも適している。
 3) 素地調整が ISO-St3 (SSPC-SP3) でもすぐれた浸透性・付着性・防錆性を発揮し、塗り替え用及びブラスト処理が不可能な場合に適している。
 4) 無公害特殊防錆顔料の効果により、非常にすぐれた耐食性を発揮する。

4. 塗料性状

項目	内容					
容姿	2液性					
荷姿	18 kg/缶(主剤: 16.2 kg、硬化剤: 1.8 kg) 4 kg/缶*(主剤: 3.6 kg、硬化剤: 0.4 kg)					
色相	赤さび色、グレー、ライトグレー、Dホワイト					
光沢	つや消し					
密度 (23℃)	塗料	1.36 (グレー)				
	揮発分	0.82				
加熱残分	72% (グレー)					
乾燥時間	温度	5℃	10℃	20℃	30℃	40℃
	指触	3時間	2時間	1時間	40分	20分
	半硬化	18時間	12時間	6時間	4時間	2時間
標準膜厚	50 μm					
引火点	SDS参照					
発火点	SDS参照					
爆発限界(下限~上限)	SDS参照					

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

※ 色相: 赤さび色、グレーのみ対応

5. 塗装基準

項目	内容					
素地調整	ISO-St3 (SSPC-SP3) 以上					
調合法	主剤: 90部、硬化剤: 10部 (重量比)					
可使時間	5℃	10℃	20℃	30℃	40℃	
	10時間	8時間	5時間	3時間	1.5時間	
温度・湿度制限	気温: 5℃以下、湿度: 85%RH 以上					
使用シンナー	塗料用シンナー又は塗料用シンナーA					
塗装方法	塗装方法	刷毛・ローラー塗装		エアレス塗装		
	希釈率	0~10%		0~10%		
	標準使用量	0.17 kg/m ²		0.22 kg/m ²		
	標準膜厚	50 μm		50 μm		
	ウエット管理膜厚	100 μm		100 μm		
エアレス塗装条件	1次圧 0.4MPa (4 kg/cm ²) 以上					
	2次圧 12MPa (120 kg/cm ²) 以上					
	チップNo.163T-417~619 (ケラコ) 又は相当品					
塗装間隔	温度	5℃	10℃	20℃	30℃	40℃
	最小	48時間	36時間	16時間	12時間	10時間
	最大	14日	14日	14日	10日	7日

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

6. 施工上の注意

- 被塗面の油・湿気・じんあい、水分、その他の有害な付着物は完全に除去する。旧塗膜上に固着した粉状異物は研磨にて十分除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しない事がある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。
- 主剤粘度は特に低温時期に高くなる。開缶前に振倒することで流動性が得られ、取り扱いし易くなる。
- 規定範囲内で塗り重ねを終えるようにすること。尚、規定以上経過した場合は塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨し更に、ウェスにて拭いて調整してから塗装すること。
- 希釈には塗料用シンナー又は塗料用シンナーAを使用すること。
- 塗装終了後の使用機器は直ちに塗料用シンナー又はラッカーシンナー等で十分に洗浄する。硬化反応が進行した塗料は塗料用シンナーでは洗浄が困難な場合があるので、その場合は、ラッカーシンナー等を洗浄に使用すること。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	指定可燃物	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第3種有機溶剤含有物	第3種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

ホルムアルデヒド放散等級: F☆☆☆☆

8. 使用上の注意 [警告]

- 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。